

## 4. 歴史文化を活かしたむらづくりの進め方

ここでは、歴史文化を活かしたむらづくりの考え方のもとに、歴史文化を活かしたむらづくりを具体的に推進するための方策として「歴史文化保存活用区域」、「保存活用計画」の考え方を整理することにより、歴史文化を活かしたむらづくりの展開の道筋を示す。

### 【 歴史文化保存活用区域 】

個々の文化財だけでなく、文化財と一体となって価値を形成する周辺環境も含めて、文化的な空間を創出するための区域

### 【 保存活用計画 】

実際に文化財を総合的に保存・活用するために必要とされる詳細な計画であり、「歴史文化基本構想」とは別に作成する計画

「歴史文化基本構想」策定技術指針（平成 24 年（2012）2 月、文化庁文化財部）より

### 4-1. 歴史文化保存活用区域の考え方

#### （1）歴史文化保存活用区域の設定

明日香村には、村全域にわたり宮跡や寺跡、古墳、石造物や歴史的な建築物、町並みなどの建造物や棚田をはじめとした農地や里山、飛鳥川などの自然環境がみられ、古都としての歴史的風土を形成している。また、その歴史的風土を舞台に祭りや行事、生業などの古くからの人々の活動が繰り返され、村全域が文化的景観を形成している地域であるといえる。そして、それらの多様かつ多彩な文化財が相互に関係し合うことにより、その集合体として、現在の明日香村の歴史文化が作りだされている。

従って、明日香村の歴史文化の価値を守り、その魅力をより一層高めていくためには、歴史文化を活かしたむらづくりを、広く村全域に展開していくことが求められる。

このことを踏まえ、明日香村の「歴史文化保存活用区域」は、歴史文化を活かしたむらづくりを展開するための区域として村全域を対象とし、取り組みを戦略的に展開するために必要なゾーン区分を設定することとする。

#### （2）歴史文化保存活用区域のゾーン区分の設定

明日香村の関連文化財群を構成する文化財の分布をみると、「日本国はじまりの地」の「日本国誕生」や「仏教の伝来と興隆」に係る文化財は、明日香村北部の盆地区域に集積がみられ、「東アジアとの交流」に係る文化財は、明日香村西部の丘陵区域に集積がみられる。一方、「“あすかびと”の暮らし」の「農と山の生活文化」と「信仰と習俗の継承」については、村内の各大字において受け継がれるものであり、村全域にわたって分布しているが、なかでも明日香村南東部の飛鳥川上流地域では、その他の関連文化財群に比べて「“あすかびと”の暮らし」に係る文化財が多く分布している。また、「日本人の心のふるさと」の「古都への望郷」と「万葉の世界」についても、古くからの河川や道筋沿いを中心に村全域への広がりがみられる。

また、一方で、近年の文化財的な価値づけやむらづくりの取り組みの展開をみると、飛鳥川上流の区域では「奥飛鳥の文化的景観」が重要文化的景観に選定されており、「あすかびと」の暮らしがつくる風景が文化財としての価値づけをされている。さらに、明日香村西部の地域では、「体験・学習・交流・協働」を基本方針とした国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区の整備、また、牽牛子塚古墳の整備や西飛

鳥地域の活性化に向けた検討が進められ、さらに畑の八百屋さんなどの地域住民が主体となったむらづくりの取り組みが積極的に進められ、観光・交流の拠点としての新たな展開がみられている。

これらを踏まえ、明日香村における「歴史文化保存活用区域」のゾーン区分としては、「古代宮都ゾーン」「暮らしと信仰ゾーン」「歴史文化交流ゾーン」の3つのゾーンを設定することとする。

### ア. 古代宮都ゾーン

飛鳥に広がる平地部の「真神原」と呼ばれる地は、飛鳥寺の建立や飛鳥宮の造営をはじめ、飛鳥時代の寺院や宮が営々として築かれた飛鳥時代の中心となる区域である。現在も地上・地下の各所に日本国誕生の痕跡を物語る多くの遺跡が残り、遺跡とともにある暮らしの長い歴史を感じることができるとともに、整備された史跡や様々なイベント等を通じて、往時の風景を思い起こすことができる。

### イ. 暮らしと信仰ゾーン

飛鳥川上流域とその山間部にあたり、棚田や飛鳥川をはじめとした自然景観や社寺などが多く残り、現在も続けられている綱掛神事や皇極天皇が雨乞いをしたといわれる女淵が残るなど、まさに八十万の神が坐す地を思い起こすことができる。また、「奥飛鳥の文化的景観」として重要文化的景観に選定されるなど、“あすかびと”の暮らしや信仰を体感することができる。

### ウ. 歴史文化交流ゾーン

古代、数多くの渡来人が移り住み、大陸の文化を伝えた地であり、檜隈寺や呉原寺などの渡来系氏族の寺院や古墳、また四神等を描いた高松塚古墳やキトラ古墳など、古くからの他地域との交流を物語る痕跡が数多く残された地域である。近年は、「体験・学習・交流・協働」を基本方針とした国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区の整備、また、牽牛子塚古墳の整備や西飛鳥地域の活性化に向けた検討が進められ、さらに畑の八百屋さんなどの地域住民が主体となったむらづくりの取り組みが積極的に進められ、観光・交流の拠点としての新たな展開がみられる。

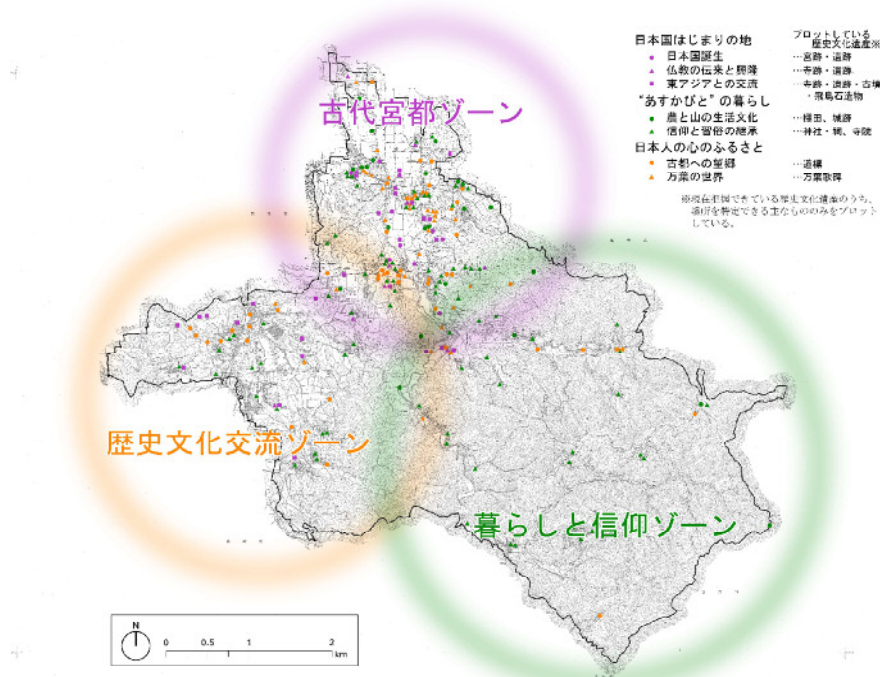


図4-1 明日香村における歴史文化保存活用区域のゾーン区分

表 4-1 歴史文化保存活用区域のゾーン区分と特徴

項目		古代宮都ゾーン	暮らしと信仰ゾーン	歴史文化交流ゾーン	
関連文化財群と構成する主な文化財	日本国はじまりの地	日本国誕生	・伝飛鳥板蓋宮跡 ・飛鳥京跡苑池 ・豊浦寺跡 ・川原寺跡 ・飛鳥水落遺跡 ・飛鳥池工房遺跡 ・酒船石遺跡 など	・飛鳥稲淵宮殿跡	・天皇や皇族の陵墓
		仏教の伝来と興隆	・飛鳥寺跡 ・釈迦如来像（飛鳥大仏） ・橘寺跡 ・岡寺跡 ・大官大寺跡 ・奥山久米寺跡 など	・坂田寺跡	・檜隈寺跡 ・定林寺跡
		東アジアとの交流	・酒船石 ・亀形石造物 ・文様石 ・ミロク石 ・亀石 など	・坂田寺跡 ・石舞台古墳 ・マラ石	・高松塚古墳 ・キトラ古墳 ・牽牛子塚古墳 ・岩屋山古墳 ・マルコ山古墳 ・真弓罐子塚古墳 ・猿石 など
	あすかびとの暮らし	農と山の生活文化	・平坦地に広がる農地 ・飛鳥川の堰 ・各集落の景観（大和棟形式等の伝統的な様式の建築物や瓦屋根の連なり、岡や飛鳥などの歴史的な町並み景観など）	・稲淵や細川谷の棚田 ・飛鳥川の堰 ・各集落の景観（大和棟形式等の伝統的な様式の建築物や石積みがつくる家並みなど）	・各集落の景観（大和棟形式等の伝統的な様式の建築物や石積みがつくる家並み、桧前の歴史的な町並みなど） ・農を活かした取り組み
		信仰と習俗の継承	・飛鳥坐神社（おんだ祭など） ・甘樫坐神社（盟神探湯など） ・飛鳥寺（花会式など） ・岡寺（初午大祭など） ・橘寺（太子会式など） ・法満寺 ・西念寺 ・各大字の祭り・行事 など	・飛鳥川上坐宇須多伎比売命神社 ・飛鳥川の男綱・女綱（綱掛神事） ・加夜奈留美命神社 ・大仁保神社 ・気都倭既神社 ・龍福寺 ・威徳院 ・各大字の祭り・行事 など	・櫛玉命神社 ・許世都比古命神社 ・於美阿志神社 ・呉津孫神社 ・称念寺 ・泉福寺 ・観音寺 ・各大字の祭り・行事 など
		古都への望郷	・名所（飛鳥坐神社、岡寺、橘寺、雷丘など） ・街道・古道 ・道標	・名所（飛鳥川など） ・街道・古道 ・道標	・名所（文武天皇陵、欽明天皇陵など） ・街道・古道 ・道標
	万葉の世界	・万葉の故地と万葉歌碑（甘樫丘、飛鳥川など） ・犬養万葉記念館、奈良県立万葉文化館	・万葉の故地と万葉歌碑（飛鳥川・飛び石など）	・万葉の故地と万葉歌碑（檜前川など）	

(3) 歴史文化保存活用区域における取り組みの進め方

① 歴史文化保存活用区域共通の取り組みの進め方

○ 計画的・段階的な取り組みの推進

「3-3. 歴史文化を活かしたむらづくりの取り組みの考え方」に従い、それぞれの方針について、明日香村が主導しながら、国や県、村民等、専門家等との協働により、次の取り組みを実施する。取り組みは、概ね5年程度を見据えた「初期」の取り組みと、それ以降に実現していく「中長期」の取り組みの2種類を設定し、段階的な取り組みを計画的に推進する。

表 4-2 段階的な取り組みの内容

基本方針	方針	取り組み内容	
		初期	中長期
【基本方針1】 「美し“あすか”」 を学び、育むための 基盤を整える (基盤づくり)	【方針1-1】 ひとづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構想内容の発信（広報、村ホームページ、パンフレット）</li> <li>・ 歴史文化情報や活動情報等の発信</li> <li>・ 学校教育と連携したテキストやカリキュラムづくり</li> <li>・ 人材育成制度の創設に向けた基礎調査・体制づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動団体等の顕彰制度の創設</li> <li>・ 人材育成制度の創設・保存技術者育成講座等の開催</li> </ul>
	【方針1-2】 仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史文化に係る相談窓口の設置</li> <li>・ 歴史的な建築物等の修理・修復に対する助成制度の創設</li> <li>・ 文化財データベース及び大字ごとの「文化財カルテ」の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラウンドテーブルの設置</li> <li>・ 「(仮称) 大字文化財制度」の創設</li> </ul>
【基本方針2】 「美し“あすか”」 の歴史文化を守る (保存)	【方針2-1】 個々の文化財の適切な保存・管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定等を受けていない文化財（特に民俗や古文書、歴史的建築物、大字に受け継がれてきた文化財等）の詳細な調査</li> <li>・ 「(仮称) 文化財防災講座」の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化財の調査の継続・拡充</li> <li>・ 文化財の指定等、景観重要建造物・景観重要樹木の指定の推進</li> <li>・ 「(仮称) 大字文化財制度」による保存措置</li> </ul>
	【方針2-2】 文化財相互や文化財と周辺環境との関係に配慮した保存・管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全村を対象とした歴史的風土の保存や景観づくりの取り組みの継続</li> <li>・ 大字景観計画の作成の推進</li> <li>・ 県や近隣市町との連携による広域的な景観づくり方策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大字景観計画の作成の継続と各大字における取り組みの展開</li> <li>・ 広域的な景観づくりの推進</li> </ul>
【基本方針3】 「美し“あすか”」 の歴史文化を活かす (活用)	【方針3-1】 個々の文化財の積極的な活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 史跡整備の継続・推進</li> <li>・ 美術工芸品の効果的な公開・活用</li> <li>・ 空き家バンク制度の継続・拡充</li> <li>・ 個々の文化財の効果的な活用方策の検討推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個々の文化財の価値づけと活用対象・方策の検討推進</li> <li>・ 大字景観計画にもとづく、各大字における文化財の活用推進</li> <li>・ 歴史的な建築物等の学習・定住・観光・活性化等への活用推進</li> </ul>
	【方針3-2】 文化財相互や文化財と周辺環境との関係が作る魅力のむらづくりへの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な主体に対応した形での関連文化財群の編集による「美し“あすか”」の魅力の発信（広報、村ホームページ、パンフレット等）</li> <li>・ 「日本遺産」の認定推進</li> <li>・ 修学旅行生向けの体験学習プログラムづくり</li> <li>・ 歴史文化を活かしたむらづくりイベントの継続</li> <li>・ チャレンジショップ等の取り組みの継続</li> <li>・ 「明日香まるごと博物館づくり」の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「世界遺産」の登録推進</li> <li>・ 明日香村出身者や来訪者、飛鳥ファンなどによる村外からの情報発信の仕組みづくり</li> <li>・ 新たな歴史文化の創設</li> </ul>

## ○ 重点的な取り組みの推進（村民主導型の歴史文化を活かしたむらづくりモデルの構築）

明日香村ではこれまで村等の行政が中心となって指定等文化財の保存・活用を中心とした歴史文化を活かしたむらづくりを進めてきた。そのため、村民は自分たちの大字にある文化財の価値を十分に理解できず、また何からどのように取り組めば良いかわからないといった状況がみられた。そこで、村民が主体となって明日香村の多様な歴史文化の保存・活用に取り組めるよう、村民主導型等の歴史文化を活かしたむらづくりのモデルを構築していく。

具体的には、歴史文化に対する村民意識の高い地域（大字）を対象に、関連文化財群の位置づけや文化財の種別などに応じた「(仮称) 歴史文化を活かしたむらづくりモデル事業」を実施するとともに、他地域（大字）での汎用可能性等を検討する。

## ② ゾーン別の取り組みの進め方

「① 歴史文化保存活用区域共通の取り組みの進め方」において示した村全域における取り組みのなかでも、特に3つのゾーン（「古代宮都ゾーン」、「暮らしと信仰ゾーン」、「歴史文化交流ゾーン」）について、明日香村の歴史文化の特徴をつくる3つの要素（「日本国はじまりの地」、「“あすかびと”の暮らし」、「日本人の心のふるさと」）と関連づけた次の取り組みを優先的・重点的に実施し、その特徴に磨きをかけていくことにより、「美し“あすか”」の魅力をより一層効果的に維持・向上させていく。

### ア. 古代宮都ゾーン

古代、飛鳥の地に営まれた宮都の繁栄を物語る遺跡群と、それらを取り巻く各時代を通じた人々の活動が創り出してきた歴史文化の特徴を活かし、遺跡と人々とが共生する「美し“あすか”」の基盤となる古都・明日香の魅力づくりの拠点ゾーンとして位置づけ、古代からの歴史文化を体感できる保存・整備を進めるなど、「日本国はじまりの地」に係る関連文化財群の保存・活用を重点的に推進する。

#### <具体的な取り組みの例>

- ・飛鳥宮跡の保存・整備
- ・飛鳥京跡苑池遺構の整備
- ・小山田遺跡や都塚古墳等の調査・研究と整備に向けた検討
- ・バーチャル飛鳥京の継続・拡充
- ・街村集落（飛鳥集落等）の町並み調査と伝統的建造物群保存地区としての価値づけの検討

### イ. 暮らしと信仰ゾーン

豊かな自然に抱かれた“あすかびと”の暮らしと信仰を特に色濃く残す歴史文化の特徴を活かし、「美し“あすか”」の根幹をなす自然と人との良好な関係を象徴的に感じられる拠点ゾーンと位置付け、伝統的な祭りや行事、文化的景観などの保存・活用に向けた取り組みを進めるなど、「あすかびと」の暮らしに係る関連文化財群の保存・活用を重点的に推進する。

#### <具体的な取り組みの例>

- ・「綱掛神事」等の暮らしと関わる信仰や豊かな自然環境の保存・継承
- ・大字に伝わる民俗文化の重点的・優先的な調査の実施
- ・文化的景観の保存・活用のための大字景観計画の作成
- ・棚田の保存・活用などの活動の支援

## ウ. 歴史文化交流ゾーン

東アジアとの交流からはじまる国内外との交流が作りだしてきた歴史文化の特徴を活かし、「美し“あすか”」を軸とした新たな交流の拠点ゾーンと位置付け、史跡や公園、農業などの産業を中心とした体験学習の充実や周遊観光の活性化に向けた取り組みを進めるなど、「日本人の心のふるさと」に係る関連文化財群の保存・活用を重点的に推進する。

### ＜具体的な取り組みの例＞

- ・ 国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区における体験的歴史学習等を通じた交流の推進
- ・ 西飛鳥地域（近鉄吉野線西側を中心とする地域）の活性化に向けた取り組み推進  
（牽牛子塚古墳・越塚御門古墳の整備、史跡や活動をつないだ周遊ルートの整備など）
- ・ 村外からの来訪者との歴史文化を活かしたむらづくりの連携・協働体制の構築
- ・ 近鉄飛鳥駅前の市街化区域における新たな明日香型住宅の建設と人口誘導による歴史文化の担い手の育成

## 4-2. 保存活用計画の考え方

### (1) 保存活用計画の作成の目的

前項に定めた「歴史文化保存活用区域における取り組みの進め方」に基づき、その取り組みを具体化するためには、歴史文化の保存・活用に係る多様な主体との協働のもとに様々な取り組みを計画的に推進していくことが求められる。

そこで、本構想の考え方に基づき、今後、推進していく保存・活用の具体的な取り組みの内容等を明示した「保存活用計画」を策定する。

### (2) 保存活用計画の作成の考え方

保存活用計画の対象、保存活用計画の作成主体、文化財とその周辺環境の整備の方針、保存活用計画に定める事項は次のとおりとする。

なお、新たな遺跡等の発見があった場合は、本構想の考え方を踏まえた上で、必要に応じて保存活用計画の見直しを行うことにより対応する。

#### ア. 保存活用計画の対象

保存活用計画は、関連文化財群を構成する文化財を対象に、4-1 で設定した歴史文化保存活用区域のゾーンごとに作成する。

#### イ. 保存活用計画の作成主体

保存活用計画は、明日香村が中心となり、大字や各種活動団体、専門家等と連携して作成する。

#### ウ. 文化財とその周辺環境の整備の方針

保存活用計画は、4-1 で設定した「歴史文化保存活用区域共通の取り組みの進め方」及び「ゾーン別の取り組みの進め方」に即して作成することとする。

#### エ. 保存活用計画に定める事項

保存活用計画には次の事項を定めることとする。

- (a) 計画の対象範囲
- (b) 対象区域における歴史文化の特徴
  - ・対象区域の歴史的背景や文化財の状況、明日香村における対象区域の位置付け 等
- (c) 文化財の保存・管理及び整備・活用の方針
  - ・各々の文化財又は種別や類型ごとの保存・管理の方針及び整備・活用の方針
  - ・対象区域が拠点的役割を担う関連文化財群について、他地域との連携のための方針 等
- (d) 体制整備の方針
  - ・大字、活動団体、各種団体、専門家など、各地域の担い手の状況に応じた、各主体の役割や主体間の連携の方針、具体的な方策 等
- (e) 具体的な事業計画
  - ・短期・中期・長期等の各段階に応じた、具体的な取り組みの内容 等